



竹田 英司

今季のVリーグ最終戦は松本大会(3月27、28日)。あるスタッフから「試合前、どこにいますか」と聞かれ、「選手の邪魔になるから控室にいます」と答えると、「竹田さんはチームの顔なんだから、選手と一緒に過ごしてください」とおだてられ、試合前の練習に参加した。コート上で円陣に加わった後、ベンチに戻ろうとしたら「まだ帰

西⑬、金子⑭の両選手で松本大会での16、17勝目を祝う



日本一 胴上げ夢見て

らない、ほら！」と当然のように選手から一緒に仕上げのダッシュをするよう求められた。ファンの皆さまからの温かい視線を感じながら、親子ほど年の離れた選手とともに汗を流し、30年遅れの青春を味わった。

試合後に西知恕、金子聖輝の両選手から頼まれた今週の一枚。以前は頼りなく見えた金子選手はすっかり先発セッターの座が板に付き、「男子、三日会わざれば刮目して見よ」という故事をかみしめながら撮影した。

合宿所に戻ると、手術を終えた井上航選手が松葉づえ姿で出迎え、陳建禎選手に「1週間ぶりなんだよ。ハグぐらいさせてよ」と抱きつき、陳選手は私に「写真を撮らないで」、航選手に「あっち行って」と訴えた。いつもと変わらぬ光景だ。

近くにいた深津旭弘選手に「一度でいいから日本一になって胴上げしてもらいたい」と言うと、「竹田さんが来てからまだ日本一になっていなかった？ 黒鷲旗(全日本男女選抜大会)では優勝するよ」と力強く宣言してくれた。2年前の劉力賓選手のように、5月に大阪で宙に舞う自分の姿を夢想した。(JT広島マネジャー)